

コンテンツ コントロール サービス

フリー トライアルをお試しください
www.messagelabs.co.jp

メッセージラボの特徴

- 業界最高水準の機能を備えたマルチレイヤ構造のコンテンツ コントロール サービス
- シンプルな管理者用ウェブツールと簡単な手順でスムーズな設定作業
- すべてのメール コンポーネント（添付されている Microsoft Office® ファイルを含む）をスキャン
- ルールごとおよびアクションごとにカスタマイズ
- イメージ コントロール サービスと併用することによって、より厳格なメール管理が可能

アナリストからの評価

メッセージラボは、ガートナー社によるメール セキュリティ バウンダリのマジック クアドラントで 2006 年に“リーダー”に選出されました。ガートナー社が定義する“リーダー”とは、現在の業績が好調であり、市場の方向性について明確なビジョンを持っており、その市場におけるリーダーとしての地位を維持することに努めているベンダのことです。

出典：『Gartner Magic Quadrant for E-mail Security Boundary, 2006』
（執筆者： Peter Firstbrook 他、
発行日： 2006 年 9 月 25 日）

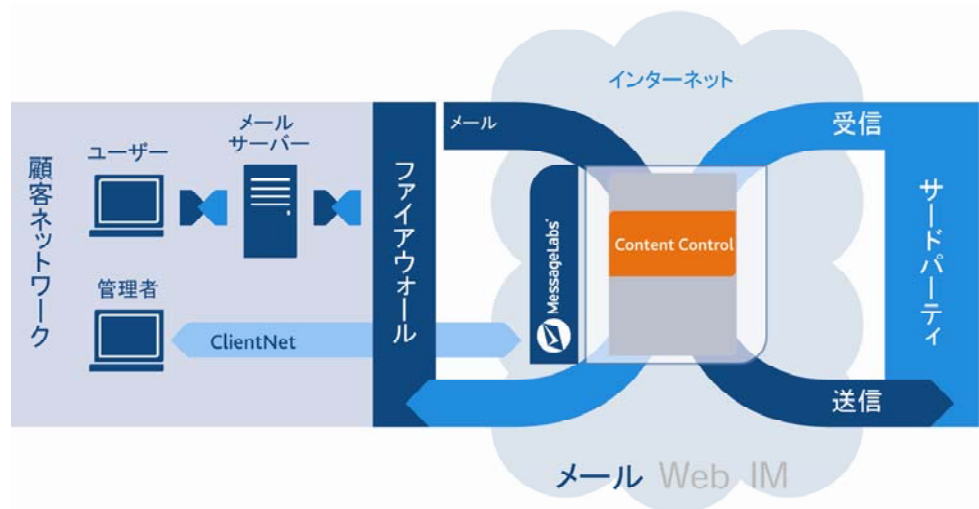
あなたの会社から送信されるメールの内容は適正ですか

社内のコミュニケーションを円滑化するうえでメールの重要性はますます高まっていますが、一方で、社内ネットワークと外部の間で送受信されるすべてのメールの内容を管理することも、コンプライアンスの観点から極めて重要なポイントとなって来ています。メールのメッセージの内容を管理できていない場合、機密情報、不快なジョーク、無駄なメッセージ、不適切な文言を含んだ文章などが、管理者の知らない間に、社内ネットワーク上を流れたり社外に送信されたりするおそれがあります。

このようなメールが社外に流れた場合、あなたの会社の価値、信用、生産性などに重大な影響がおよぶ可能性があり、また、知的財産データや機密データが流出する危険性も高まります。さらに、いじめやセクシャル ハラスメントなどに関する法規が順守されず、そのような内容がメールで流れた場合は、訴訟を起こされたり罰金を科せられたりするリスクもあります。その結果、最終的には顧客の信頼を失い、取引を停止される可能性もあるでしょう。

メッセージラボのコンテンツ コントロール サービスを利用すれば、機密情報、悪意のある情報、不適切な情報などが記載されたメールが送受信されるという問題を解決し、様々なリスクを未然に防ぐことができます。もちろん、セットアップと運用は容易に行え、コスト対効果にも優れています。

メッセージラボの包括的なコンテンツ コントロール ソリューション



メッセージラボのコンテンツ コントロール サービスでは、マルチレイヤ テクノロジーが採用されており、個々のメールを外部から社内へ送信してもよいかどうか（または、社内から外部へ送信してもよいかどうか）が判定されます。このサービスは、ニーズに合わせて自由にカスタマイズでき、適切な使用ポリシーを作成して適用することができます。これにより、社員のメール使用方法を制限し、業務を効率化することができます。

メッセージラボのコンテンツ コントロール サービスは、メッセージラボの動的グローバル プラットフォームに展開され、企業のメール運用管理を適正な状態に維持する役割を果たします。

このサービスのしくみ

- ユーザ企業は、自社の MX (Mail Exchange) レコードをメッセージラボに移設
- 外部との送受信メールはすべてメッセージラボに配信され、スキャン
- 管理者はウェブツールで利用ポリシーに合わせてルールを作成
- ルールが適用されたメールに対して、さまざまなアクションを実行 (ブロックして削除、管理者に転送、管理者にコピー、ヘッダーにタグを付加、件名行にタグを付加、ログ ファイルへの記録のみ、添付ファイルを圧縮)
- ルールが適用されないメールは、通常どおり本来の受信者に配信

サービス レベル アグリーメント

コンテンツ コントロール サービスでは、次に示す業界最高水準の SLA (サービス レベル アグリーメント) が提供されています。

- サービス稼働率: 100%
- メール配信遅延: 平均 60 秒以内
- テクニカル サポート/障害対応: 重大な用件、重要な用件、および重要でない用件に対するそれぞれの応答時間を保証

メッセージラボ ジャパン株式会社

各国のオフィスと電話番号については、メッセージラボのウェブサイトをご覧ください。

www.message-labs.co.jp
mlj_sales@message-labs.com

コンテンツ コントロール サービスには、使いやすい管理者用ウェブツールと豊富な機能が備わっており、サービスの稼働率は 100% です。このサービスでは多様なテクノロジーが採用されているので、メールの本文、件名、およびヘッダーの解析だけでなく、添付されている Microsoft® Office ファイル (Word, Excel, PowerPoint) 内のテキストも解析することができます。

管理者は、メールと添付ファイルをスキャンして、メッセージラボ側であらかじめ定義されている、またはユーザが定義した、キーワード、フレーズ、URL リスト、英数字の文字列 (例: クレジット カード番号、国民保険番号など) が含まれているかどうかを調べることができます。

ユーザごとに別々のルールを適用できます。その場合、メールの送信者または受信者を個人、グループのメンバ、ドメインのセット、または単一ドメインとして定義します。条件とルールは、管理可能なさまざまな形式のリスト (例: メール アドレスのセット、ドメイン名のセット、単語とフレーズのセット) から取得することができます。

あるメッセージがあるルールに当てはまる場合、その後の処理に関する参考情報などがエンドユーザに通知されます。すべてのアクション タイプに対して、エンドユーザに送信される通知を、管理者によって作成されたルールに合わせて自由にカスタマイズできます。



コンテンツ コントロール サービスの機能とメリット

機能	メリット
マルチレイヤ構造によって、機密情報や不適切なテキストが含まれているメッセージを検知	社員が不適切なメッセージを送信しないようにすること、利用ポリシーを適用すること、法規を順守すること、および会社の信用と生産性を維持することが可能
包括的で柔軟かつ細かなルール設定が可能	部門や個人特有のニーズに合わせてルールの作成が可能
メールのヘッダー、件名、本文、および添付ファイル (Microsoft Office® ファイルおよび圧縮ファイル) をスキャン	すべてのメール コンポーネントをスキャンし、すべての送受信メッセージ内容の適正性を確保
通知はルールおよびアクション タイプに合わせた設定が可能	企業の特別なニーズに正確に適合したサービスで固有の業務目的に対応
管理者は特定のキーワードやフレーズ、その使用頻度、時間帯などに関してもルールの設定が可能	ルールの設定と変更が可能のため、各地域の状況や刻々と変化するニーズにも対応可能
拡張文字リスト認識機能によって、日本語を含むアジア言語の単語やフレーズを認識	地域、文化、言語にかかわらず、あらゆるメールをスキャンして適正性を検査することが可能
ダッシュボード、サマリー、および詳細な定期レポート	可視性、アカウントビリティ、および確実性を備えたサービスの効果